

## みざわ城下町ライトアップ

8月29日、みざわ城下町ライトアップイベントが、蔭涼寺から三沢公民館までの通りで開催されました。このライトアップは、新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントの中止が相次ぐ中、「三沢の未来を照らす企画をやりたい」という思いで、三沢地区で活動する「NPO法人ともに」と「ともにの会」の主催で行われました。通りには高齢者施設や三沢小学校の生徒の皆さんが川柳やイラストを描いた手作り灯籠が飾られたほか、三澤神社や蔭涼寺がライトアップされました。地域住民の方は、普段とは違う幻想的な通りを歩きながら、夏場唯一のイベントを楽しみました。



▲プロジェクトの中心になった皆さん

## 日刀保たたら村下 アジアン カルチャー アワード 木原 明様「Asian Culture Award」を受賞

8月29日、国選定保存技術保持者である日刀保たたら村下の木原明様が、一般社団法人東方文化支援財団からAsian Culture Award (アジアンカルチャーアワード) の表彰を受けられました。この賞は、アジア圏を中心に文化芸術分野を下支えする人物を対象とした賞です。第1回目となる今回は、木原様を含む国内3名の方が受賞されました。木原様は、技術責任者として、日本古来の製鉄法「たたら製鉄」により日本刀の原料となる玉鋼を生産し、また、技術を伝承し、後継者を育成している点が評価されました。同財団の中野代表理事は、「鍛冶職人がいい仕事ができるのは、いい原料が供給されるから。今回、村下の木原様にお会いし、凛とした背中から気合を感じました」と話されました。木原様は、「とても光栄な事です。一緒に働く後継者と、この賞を分かち合います。」と喜びを語りました。



▲東方文化支援財団中野代表理事(左)と日刀保たたら村下木原様

## 地域おこし協力隊の現場を訪ねて

落合隊員

今回ご紹介するのは、4月に就任したしごとづくりコーディネーターの落合孝行隊員とJR木次線応援隊の佐藤克枝隊員です。

佐藤隊員

### ◆どのようなお仕事をされていますか？

やりたいことがある人や好きなことを副業にしてみたい人などをサポートする仕事です。相談者の話を聞き、思いを言葉に書き出すことから始め、どのように進めていくか、どのように形にするかを一緒に考えています。

### ◆相談に乗るために心掛けていることは何ですか？

普段から色々な人と繋がり、話をすることです。例えば、相談者がやりたい事を実行するための一歩が踏み出せないとき、「こんな需要があるんだよ」と情報提供する事でチャレンジできたり、人と人を引き合わせることで新たなチャレンジが生まれたりします。人と話す事で、町にどんな課題があるか、普段どのような事をみんなが感じているかを知ることができます。人との雑談にはヒントがたくさんあるんですよ。

### ◆これから3年間どのように過ごしたいですか？

奥出雲町が「●●してもつまらん」という環境ではなく、どんな些細な事でもチャレンジしやすい環境・雰囲気になってほしいと思います。そのためには、相談者のサポートはもちろんですが、自分自身が「健康×地域づくりをする会社」を立ち上げることにチャレンジしていきます！

どんな相談でもお待ちしています。一緒にチャレンジしましょう。



### ◆どのようなお仕事をされていますか？

「奥出雲」や「木次線」の見所をブログ等で紹介したり、土日祝日は、横田駅前にある観光案内所で観光案内をしています。

### ◆奥出雲町に来るきっかけは何ですか？

高層ビルに囲まれ、満員電車で揺られる生活に疲れ、山々に囲まれて生活したいと思いました。山陰の色々な山間地にしてみました。しっくりこず、たまたま地図を開き「奥出雲」というネーミングに惹かれ、「ここだ!」と決めました。空気がきれいで、野菜は新鮮で、お米がとてもおいしく、奥出雲ライフを楽しんでいます。

### ◆これから3年間どのように過ごしたいですか？

このような観光情報発信業務は、今までやったことがなく、「0」からのスタートです。しかし、とても新鮮で楽しく業務を行っています。観光案内所に来て下さった地元の方から奥出雲町の色々な話を聞き、仕事に活かしています。人との会話は財産だなと感じます。これからも引き続き、木次線沿線の色々な駅の様子や駅周辺の観光情報発信を行い、1人でも多くの人に木次線に乗ってもらえるよう盛り上げて行きたいです。

仕事名「マリア」で、ブログを書いています。観光案内所へ気軽に遊びに来て下さい。



出雲八代駅  
布勢幼稚園と児童クラブの皆さん



出雲三成駅  
仁多中学校の皆さん



出雲横田駅  
横田幼稚園と横田ホッケー  
スポーツ少年団の皆さん



八川駅  
八川幼稚園の皆さん

## 運転再開 トロッコ列車「奥出雲おろち号」

8月21日、JR木次線トロッコ列車「奥出雲おろち号」が約4ヶ月振りに運転を再開しました。当日は、奥出雲町や雲南市の沿線市町でつくる木次線活用推進協議会(会長:勝田町長)の呼び掛けにより、各駅で中学生や幼稚園児など多くの皆さんが横断幕や吹奏楽の演奏などで出迎えました。出迎えた幼稚園児が列車に「行ってらっしゃーい」と手を振ると、乗客の皆さんも手を振り返し、温かな交流が見られました。

また、乗客の皆さんは「再開を待っていました」、「景色を楽しめました」と感激した様子で感想を話していました。

同列車は、4月4日に運転が開始された直後から新型コロナウイルス感染症の影響により運行を休止していました。木次鉄道部では、乗客の皆さんに安心して乗車していただくため、車内の抗菌加工や消毒液設置などの感染対策を行い、乗車の際はマスクの着用を呼び掛けています。

## 全国燗酒コンテスト2020

全国燗酒コンテスト実行委員会が主催する全国燗酒コンテスト2020が、8月6日から7日にかけて、東京都で開催されました。コンテストは、「お値打ちぬる燗部門」、「お値打ち熱燗部門」、「プレミアム燗酒部門」、「特殊ぬる燗部門」の4つの部門に分かれており、酒造技術者や酒類スクール講師など20名の審査員がブラインド審査により、それぞれの部門で最高金賞、金賞の認定をしました。

全国245社から815点の出品があり、奥出雲町からは、簸上清酒合名会社と奥出雲酒造株式会社がそれぞれ出品をし、次のとおり受賞されました。おめでとうございます。

### 最高金賞

★お値打ち熱燗部門  
上撰 簸上正宗  
(簸上清酒合名会社)  
※2回目の受賞



飲みやすく飲み応えのある普通酒。首都圏でも人気急増中。

### 金賞

★特殊ぬる燗部門  
七冠馬 にごり酒  
(簸上清酒合名会社)



上撰「簸上正宗」の原酒をベースにしたバランスの良いお酒。冷やだけでなく、お好みの温度でも楽しめます。

★プレミアム燗酒部門  
奥出雲 純米  
(奥出雲酒造株式会社)



奥出雲町産酒造好適米100%使用。米の味わいが広がる濃醇辛口。

### 部門別審査結果

部門名	出品数	最高金賞	金賞
お値打ちぬる燗部門 <45℃>	211	12	52
お値打ち熱燗部門 <55℃>	216	12	53
プレミアム燗酒部門 <45℃>	293	16	72
特殊ぬる燗部門 <45℃>	95	5	23
合計	815	45	200

銘柄を隠して審査を行うブラインド審査の様子▶



簸上清酒合名会社・奥出雲酒造株式会社が受賞